

GPA(Grade Point Average)

本学では、成績をはかる基準としてGPAを採用することがあります。GPAとは、科目の単位数に成績評価ごとのポイントで重みをつけ、その総合計を総単位数で割った数値です。

ただし、卒業要件外の科目は除外されます。計算式からわかるとおり、S評価が多いとポイントが高くなり、D・N評価が多いとポイントが下がります。在籍期間中の通算GPAについて、成績確認画面(成績通知書)に記載しますが、教務部ではGPAを使用した成績順位の問い合わせには応じていません。

評価のポイント:S=4 A=3 B=2 C=1 D・N=0

GPA算入科目:卒業要件に含まれる科目

計算式<P・F・R・I・W評価は計算の対象外>

$$(Sの修得単位数 \times 4) + (Aの修得単位数 \times 3) + (Bの修得単位数 \times 2) + (Cの修得単位数 \times 1)$$

GPA 算入科目のうち履修登録した科目の総単位数

GPAはSが多いほど高くなり、最高は4.00となります。小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とします。

GPAが使用される例は以下のとおりです。

- (a)法学部の成績優秀者の選考
- (b)明治学院大学学内奨学金(学業優秀賞・外国人留学生学業優秀賞)給付対象者の選考
- (c)明治学院大学大学院社会学研究科の推薦入試における選考
- (d)明治学院大学大学院心理学研究科の特別入試(本学出身者)における出願基準
- (e)明治学院大学大学院経済学研究科・法と経営学研究科への飛び入学出願基準
- (f)法学部生が他大学法科大学院へ進学する際に、3年次早期卒業を希望する場合の卒業要件
- (g)明治学院大学協定留学者の学内選考基準
- (h)国際学部ダブル・ディグリー・プログラム出願基準

なお、GPA は上記以外にも、転学科試験への出願や学外の各種奨学金、大学院入試の出願時に必要とされることもあります。